

■ □ = = = = =

□

株式会社 京浜予防医学研究所

■ □ K M L メールニュース □ ■ ◆ ◆ VOL. 44 ◆ ◆

= = = = = □ ■

株式会社 京浜予防医学研究所 よりお知らせ致します！

2012年 7月 28日発行

□ ■

<http://www.kml-net.co.jp/>

KMLメールニュースVOL.44をお送り致します。  
お忙しい事とは存じますが御一読いただきまして、先生方の  
一助として頂ければ幸いです。

☆☆ トピックス ☆☆

- 【1】 エビアレルギーの診断精度が向上します！！
- 【2】 学術研究発表：ルミパルス f を用いたBNP測定試薬の基礎的検討
- 【3】 『病理の小部屋』 開設のお知らせ
- 【4】 KMLインフォメーション 5月～7月分のお知らせ

1 エビアレルギーの診断精度が向上します！！

【従来の原料へ3種類のエビを加えました】  
タラバエビ科とクルマエビ科では、アルギニンキナーゼという  
アレルギーコンポーネントの抗原性が異なることが報告されて  
います。  
抗原性の異なるタラバエビ科のホッコクアカエビ（甘エビ）に、  
クルマエビ科の赤エビ、ブラックタイガーおよび芝エビの3種類  
のエビを原料に加え改良しました。

従来：ホッコクアカエビ（甘エビ） 新：ホッコクアカエビ（甘エビ）  
赤エビ  
ブラックタイガー  
芝エビ

【臨床的感度が向上しました】  
改良品陽性かつ従来品陰性例が20例中10例 ※1 で認められました。

対象：問診によりエビアレルギーの疑いのある症例およびエビ  
アレルギー症例63例

測定：従来品および改良品を用いて特異的IgEを測定  
（ファディア社資料より）

	陽性	7 ※1	2	3 5
改良品	疑陽性	3 ※1	4	1
	陰性	1 0	1	0
		陰性	疑陽性	陽性

従来品

【頻度が高く、重篤な症状を引き起こすエビアレルゲン】  
エビなどの甲殻類は、食物アレルギーの原因となる頻度が高く、  
小児、成人ともに上位に挙げられます。エビは、重篤な症状を  
引き起こしやすいアレルゲンであり、食品表示義務項目に指定  
されています。  
また、エビが原因で起こるアレルギーでは、即時型アレルギー  
のほか、食物依存性運動誘発アナフィラキシー（FDEIA）、接触  
性蕁麻疹がありますので、注意が必要なアレルゲンです。

エビアレルギーが入ったセット【CAP16アトピー】をご活用ください。  
\*\*\*\*\*

CAP16アトピー（項目コード2460）

- 吸入系抗原  
ハウスダスト1、ヤケヒョウヒダニ、スギ、動物上皮マルチ、カビマルチ
- 食餌系抗原  
卵白、ミルク、小麦、ピーナッツ、ソバ、大豆、カニ、エビ、イクラ、マグロ、キウイ

検査項目 : CAP16アトピー  
検体量 : 血清1.2mL  
容器番号 : 1  
保存方法 : 冷蔵  
検査実施料 : 1430点  
検査判断料 : 144点（免疫学的検査）  
所要日数 : 3～5日  
基準値 : 0.34UA/mL以下

\*\*\*\*\*

2 学術研究発表：ルミパルス f を用いたBNP測定試薬の基礎的検討

2012年6月9日～10日に三重県総合文化センターで行われました「第61回 日本医学検査学会」において弊社検査技師が発表を行いましたので紹介させていただきます。

【演題】

ルミパルス f を用いたBNP測定試薬の基礎的検討

【はじめに】

ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド（BNP）は、心室から分泌されるホルモンで、慢性及び急性心不全患者ではその重症度に応じて著明に増加することから、心不全患者の病態把握に高い有用性が認められています。今回我々は、化学発光酵素免疫測定装置ルミパルス f（富士レリオ）によるBNP測定の基礎的検討を行う機会を得たので報告する。

詳しくは、下記URLをご参照下さい。  
<http://www.keihin.gr.jp/image/kml-pdf/lumipulse.pdf>

3 『病理の小部屋』 開設のお知らせ

細胞診検査では診断に苦慮する症例がしばしばあり、複数の細胞検査士や細胞診専門医とのディスカッションを行いながら診断に至ります。そのためには最新の知見とともに症例の積重ねで得られる知識が欠かせないものとなります。

その一環として、弊社診断病理センターでは、川崎中原細胞診勉強会（主に川崎市中原区周辺にある医療機関の細胞診専門医・細胞検査士を中心に開催）に出席し、トピックス的な症例や鑑別困難な症例及び稀症例などの細胞像に関して意見交換や情報収集をしております。

この度、川崎中原細胞診勉強会で出題された症例を弊社ホームページ上にて『病理の小部屋』と称し、閲覧できるように致しました。細胞診コミュニティーの場として、ご興味のある方はぜひ下記アドレスよりアクセスしてご覧ください。

<http://www.kml-net.co.jp/byouri/byouri.htm>

創刊として第1回症例を3例、第2回症例を3例ご用意致しました。

病理検査項目の参考情報

\*\*\*\*\*

検査項目	実施料
組織（1臓器につき）	860点
細胞診－婦人科	150点
細胞診－その他一般	190点

\*\*\*\*\*

4 KMLインフォメーション 5月～7月分のお知らせ

前回メールニュースを配信しました後から現在までに発行された「KMLインフォメーション」についてお知らせ致します。

各インフォメーションにつきましては、医院様へ随時お届けしておりますが、ご確認などに活用して頂ければ幸いです。

2012年 5月 28日 総合検査案内項目名称変更等のお知らせ  
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2012-052801.pdf>

2012年 5月 28日 COOL BIZ（クールビズ）実施のお知らせ  
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2012-052802.pdf>

2012年 6月 26日 測定試薬変更のお知らせ  
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2012-0626.pdf>

2012年 7月 2日 検査中止と検査内容変更のお知らせ  
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2012-0629.pdf>

■□=====



最後までお読み頂きまして有り難う御座いました。

編集／発行 <http://www.kml-net.co.jp/>  
株式会社 京浜予防医学研究所  
〒211-0042 神奈川県川崎市中原区下新城1-13-15

=====□■